

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	一般社団法人 劇団野ばら
公演団体名	一般社団法人 劇団野ばら

内容
<p>① 事前の鑑賞指導 10分 金子みすゞの詩の「みんなちがって、みんないい」という精神が、このお芝居の根底にあるテーマであります。金子みすゞという人間を知り、その詩に触れることは、このお芝居を鑑賞し舞台に参加する上で大切なことです。指導者がその生涯を紹介し「わたしと小鳥とすずと」を読んでもみます。詩を読んでいる時、参加児童は目を閉じ詩に描かれていている情景をそれぞれに思い浮かべながら聞くよう指導します。その後、可能であれば参加児童も声にして一緒に読んでもみます。</p> <p>② 実技指導(共演の指導も含む) 40分(途中休憩10分を含まない時間) まずは、指導者のリードでみんなで体をリラックスさせるための運動をする。次に、体を使った演技遊び(簡単なエチュードや縄跳び・ジャンケン・乗り物になる・動物になる)を指導を加えながらする。 10分間(体育館の換気もおこなう)休憩の後、「わたしと小鳥とすずと」の振付指導をする。 再度、10分間休憩(体育館の換気もおこなう)。</p> <p>③ 共演の指導 20分 参加児童にプロローグ出演チーム(10～15名)とエピローグ出演チーム(10～15名)に分かれてもらい、本公演の積み木の大道具を使って、プロローグ、エピローグの出演の仕方(舞台の入り方、動線と位置、出方)を説明する。 プロローグ出演チームから、実際に舞台に入り演技(実技指導でおこなった演技遊びの内容)を試してみる。次に、エピローグ出演チームが舞台で歌の振りを試してみる。</p> <p>指導者は、フェイスシールド(場合によってはマスクも)着用、参加児童は全員マスク着用でおこないます。また、学校との相談で、ワークショップ90分間体育館の窓は開け放しでおこないます。 このワークショップでは、音楽(歌)を表現(振付)を使って人に伝える楽しさや、体の表現を使って人に情景を伝えることの喜びを児童の皆さんに感じてもらいたいと考えています。</p>

タイムスケジュール (標準)
開始 1時間前に担当者の到着 準備・会場下見(午後の場合30分前～60分前を想定)
①事前の鑑賞指導 10分
②実技指導 40分(途中10分間休憩とる) 休憩 10分
③共演の指導 20分

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

合計(4名) 指導者(1名) 補助指導者(3名)

学校における事前指導

ワークショップ共演者児童の選定(高学年希望30名前後を対象)

事前に学校に渡すCDと楽譜を使い「わたしと小鳥とすずと」の歌をワークショップ参加児童に聞いておいてもらう。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	一般社団法人 劇団野ばら
公演団体名	一般社団法人 劇団野ばら

演目

創作劇「あしたあさってしあさって」

脚本 かめおか ゆみこ

演出 香川良成・北川明光

音楽 小椋 佳・田島美津子

振付 飯塚健祐

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

出演者：6名

スタッフ：3名 計9名

タイムスケジュール（標準）

7:00～10:00 搬入・設営（会場下見後、搬入時間の変更有り）前日仕込有り

11:30～12:15 リハーサル

12:15～13:15 休憩

13:15～ 入場

13:30 開演～14:50 終演（所要時間1幕80分）カーテンコール（20分）

※学校との相談によっては10分間途中休憩有

15:00～17:00 搬出

#### 実施校への協力依頼人員

現状では特にありません。

#### 演目解説

※あらすじ、舞台上の工夫同じ

コロナ禍においては、学校の許可が得られない限り、基本的に、出演者は全員マウスシールドを、スタッフはマスク・フェイスシールドを着用し、会場客席側の窓を開け十分な換気をおこないながら上演します。児童はマスク着用で観劇・出演をします。

#### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

主題歌「きのう悲しみに出会った君は」と挿入歌「わたしと小鳥とすずと」の2曲を収録したCDを事前に学校にお届けし、校内放送や学級で流してこの曲に親しんでいただきます。

当日は、劇のエピローグで、事前にワークショップに参加したグループに舞台に立っていただき、振りを交えて曲を披露します。学校との相談で、マスクをしてならば歌ってよいということであれば、全校児童の皆さんと一緒に歌います。

また、これも学校との相談で要望があれば、終演後に児童の皆さんが劇の感想を述べたり、質問をするコーナーを設けて、交流をします。

#### 児童生徒とのふれあい

ワークショップ、本公演終了後の交流会は可能です。(学校の要望がある場合)  
劇団では公演会場の空間を劇場として考えています。舞台を身近に感じてもらえるよう、  
舞台裏の見学の交流もおこないます。